

らぽーる図書室だより

★おすすめの本(7月1日現在)

刊年	内容	タイトル・著者名	出版社	分類
2015	★	田園発港行き自転車 上・下／宮本 輝	集英社	913.6
2015	★	過ぎ去りし王国の城／宮部 みゆき	角川書店	913.6
2015	★	山月庵茶会記／葉室 麟	講談社	913.6
2015	★	となりの革命農家／黒野 伸一	廣済堂出版	913.6
2015	★	深山の桜／神家 正成	宝島社	913.6
2015		トライアングル／岡井 崇	早川書房	913.6
2015		決戦！熊本城／松永 弘高	朝日新聞出版	913.6
2015		お葬式／遠田 潤子	角川春樹事務所	913.6
2015		消えたトワイライトエクスプレス／西村 京太郎	徳間書店	913.6
2015		天皇の料理番 上・下／杉森 久英	集英社	913.6
2015		探偵の探偵 3／松岡 圭祐	講談社	913.6
2015	★	頂点への道／錦織 圭／秋山 英宏	文芸春秋	783.5
2015		図解 子どもに迷惑かけたくなれば相続の準備は自分でしなさい	ディスカヴァー	345.5

* **が付いている話題の本の内容については、下記に記載しています。**

913 **田園発港行き自転車 上・下／宮本 輝**

絵本作家として活躍する賀川真帆。真帆の父は十五年前、「出張で九州に行く」と言い置いたまま、富山で病死を遂げていた。父はなぜ家族に内緒で、何のゆかりもないはずの富山へ向かったのか。長年のわだかまりを胸に、真帆は富山へ足を向ける。「縁」という不思議な糸が、命と命をつないでいく。

913 **過ぎ去りし王国の城**

居場所なんか、どこにもなかった。悪意と暴力、蔑みと無関心がやわらかな魂を凍りつかせる。ネグレスト、スクールカースト、孤独や失意……。傷ついた彼らの心が共振するとき、かつて誰もみたことがない世界がたち現れて。「今」を引き受けて必死に生きるすべての人へ、心にしみこむ祈りの物語。

913 **山月庵茶会記／葉室 麟**

わたしは帰ってきた。信じきれなかった、愛しい人のために。茶室という名の戦場ではすべての真実が見抜かれる。刀をもちいぬ“茶人の戦”が静かに、熱く、冴え渡る。茶を点てる心は、相手に生きて欲しいと願う心一。

913 **となりの革命農家／黒野 伸一**

好きな女の小のために畑に出る！若者たちの「農」への想いがきらめく。面白さNO・1の農業小説。谷あり谷あり苦難あり。近代農業で村を再生させる。

913 **深山の桜／神家 正成**

日本から約一万二千キロ、アフリカ大陸。国際連合南スーダン派遣団の第五次派遣施設隊内では、盗難事件が相次いでいた。定年間近の自衛官・亀尾准陸尉と杉村陸士長が調査に乗り出すが、さらに不可解な事件が連続して発生する。元自衛だからこそ描ける、圧倒的なリアリティ！

785 **頂点への道／錦織 圭／秋山 英宏**

「夢は世界チャンピオンになること」小学校の卒業文集に、そう記した。わずか5年前、怪我に苦しみ、世界ランクも898位からの再スタートした。2014年、運命のコーチとの出会い、「動かず攻める」テニスを習得、頂点を目指す。本人が初めて綴った長い道のり。